

我ら信濃川・大河津分水を愛する！

NPO信濃川大河津資料館友の会
法人信濃川大河津資料館友の会

Vol. 37 平成26年11月発行

私のおすすめスポット

会員 斉藤 久美（燕市在住）

今年の5月より、資料館勤務としてお世話になっております、斉藤久美と申します。会員の皆様、これからよろしく願いいたします。

私のおすすめスポットは、新潟市西蒲区にある「上堰潟（うわせきがた）公園」です。

角田山の麓に広がる洪水貯水池を兼ねた広大な敷地の公園で、バーベキュー、遊具、ウォーキングコースや約11haある潟にかかる木道などの施設のほかに、四季折々の草花が楽しめ、ご家族でピクニックやハイキングにおすすめです。

きれいな景色を眺めながらの散策が楽しく、年に何度か訪れますが、特におすすめなのは、春のお花見の時期です。桜はもちろん、桜の下に菜の花畑が一面に広がり、空の青と桜のピンク、菜の花の黄色がマッチして、まるで絵本の世界のような美しさを感じられます。

この間訪れた際には、公園に入ってすぐのところにコスモス畑が広がり、色とりどりのコスモスと角田山がとてもきれいでした。

8月の終わりから「わらアート」が公園内に展示されており、わらで出来たお城やペガサスなどのオブジェも楽しめました。イベントは「わらアート」の他に、毎年6月に「田舟乗船体験」もあるそうで、これは来年ぜひ見に行ってみたいと思っています。

これから冬になり、なかなか訪れるのが難しいかとは思いますが、また暖かくなったころ、お花見に訪れてはいかがでしょうか。

（所在地：新潟市西蒲区松野尾1番地）



満開の桜と菜の花畑



秋の上堰潟公園と角田山

レンタサイクル利用者第1号は神奈川県の深栖さんご一家

8月27日（木）から始めたレンタサイクルの利用者第1号は、8月30日（土）早朝に神奈川県藤沢市を出発したという深栖貴子さんご一家。風花ちゃんの「可愛い！乗りたい！」の一言で、おばあちゃんの岩上幸子さんと3人で新可動堰の見学に出発。「すごい迫力」「景色が良くてあっとい間だった」「自転車じゃないと行かない」「これから



自転車は久しぶりという早川理事長

資料館で勉強してきます」ととても喜んでいただきました。

当日は「ケンオードトコムを読んで乗りに来ましたー」というカップルも。多くの方にご利用いただけるようPRにも努めたいと思います。（事務局）



深栖さんご一家

理事長だより～典生のつぶやき～

◎レセップスかドレセップスか◎

これはみなさんご存知のスエズ運河の開鑿に成功し、パナマ運河で失敗した有名な歴史上の人物 Ferdinand de Lesseps のことである。この欧文で書いたのは、この人のフルネームであり（全部ではないかもしれないが一般的にはこう書いてある）、この読みをカタカナで書けば次のようになるであろう。フェルディナン ド レセップス。ここで考えたいのは、日本ではこの人の名字を書くのにほとんど例外なく「レセップス」と書くことであり、これはこの人の名字として正しい表記ではないのではないかということである。

とにかく、日本の本、論文その他書いてあるものには、殆ど例外なくレセップスと書いてある。ある日アメリカで出版された「20世紀の大事業」という書物の中に「パナマ運河の開通(Opening of the Panama Canal)」という一章があり、それを読んでみた。そうするとそこには必ず de Lesseps または De Lesseps と出てくるのである。そこで知り合いの長岡技術科学大学のフランス語の先生に尋ねてみた。「この人の名前は どう読むのでしょうか。また名字はドルセップ（少しはフランス語を知っている私の意見）と読むべきではないでしょうか。」数日たって返事を頂いた。「フランスには人名発音辞典というのがあります。それで調べたところ、これはフェルディナン・ド・レセップスと発音するということです。（私「あちゃー！」）名字としては昔ドゴール大統領という方がいて、誰もドゴール大統領と呼びませんでした。ですから、この場合もドレセップスです。」私「では、どうして日本ではただレセップスというのですか。」彼「日本では誰かが最初に言うとその通りになる傾向があります。これもその一つでしょう。」後日河川工学の泰斗でフランス留学の経験もある東大名誉教授の高橋先生にお会いする機会を得て、誰が最初にレセップスと言ったかご存じないか尋ねてみた。先生は「スエズ運河」（酒井傳六著）という1976年出版の本を探し出してくれた。その本にも「レセップス」とあった。そもそもパナマ運河が開通して、今年でちょうど100年になる。De Lesseps の名前は、おそらくは8, 90年前には日本に伝わったであろう。最初にレセップスと言った人、または文献を見つけるのは、かなり難しそうである。

どちらにせよ、この人の名字としてはドレセップスと呼ぶのが正しそうである。もしも地下に眠るドレセップスが日本では自分の名字をレセップスと呼ぶ、と知ったならば、さぞがっかりするに違いない。しかし私は言いたい。「ドレセップスさんよ。ご安心あれ。広い日本の中にも大河津の地でだけは、あなたの名字をドレセップスと正しく読んであげましょう。安らかにお休みください。」

大盛況のサケまつり開催

日時：平成26年10月18日（土）11:00～13:00
場所：大河津資料館 参加：およそ220名

絶好の秋日和の下開催した、9回目となるサケまつりは、行列が出来るほどの賑わいでした。信濃川でとれた鮭5匹を使った3つの大鍋のサケ汁、450個の塩むすび、お手製のみそ漬けを振舞いました。来年もやるの、覚えておこうと子供たち。スタッフの心のこもったおもてなしも最高でした。（事業部）



行列ができました



おいしいー！

信濃川教養講座～旧可動堰の撤去と保存」

日時：平成26年10月18日（土）13:00～15:00
場所：大河津資料館2F多目的ホール 参加：14名
講師：株式会社福田組 戸松立也さん

越後の守り神「可動堰」を壊した男のお話をお聞きしました。「コンクリート、鉄は頑丈だった。地盤と床版の間に隙間があり、なぜか蟹や小魚がいた。」ただ壊すのではなく、土木遺産としてどう未来に残すか苦心されたことを知りました。（事業部）



御影石は掘り出して利用

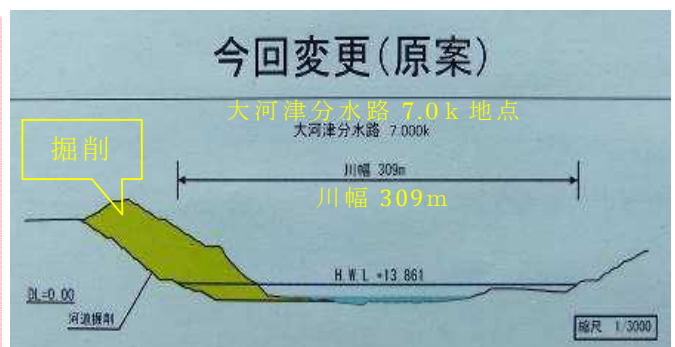


戸松立也さん

分水路河口部は左岸側に拡幅 ～信濃川水系河川整備計画変更手続き開始～

国土交通省が大河津分水路河口部を左岸側に拡幅すると長岡市議会や地元説明会で表明し、信濃川水系河川整備計画の変更手続きが始まりました。拡幅部の計画断面形状などの変更原案が10月27日まで大河津出張所などで縦覧されました。信濃川河川事務所のHPからもご覧いただけます。（事務局）

（右図：公表された第二床固上流付近の計画図）



行ってきました！最上川を巡る～直江石堤と舟下りの旅～

日時：平成 26 年 9 月 5 日（土）～6 日（日） 天候：晴れ 参加：24 名

行程：荒川・横川ダム(小国町)→最上川・松川直江石堤(米沢市)→三難所舟下り(村山市)→宿泊(新庄市)→最上峡舟下り(戸沢村)→さみだれ大堰(酒田市)→山居倉庫(酒田市)→赤川放水路(車中)→加茂水族館(鶴岡市)



現米沢市街を守るため直江兼続が作った石堤にて



さみだれ大堰とゴム堰の断面模型



最上川の上流から河口までを巡るバスツアーに行ってきました。二日間とも天候に恵まれ、2か所の舟下りでの川の様子の違い、河川改修のきっかけとなった昭和19年洪水の高さと、それを上回る平成23年、25年洪水痕跡、我国最大の風船のようなゴム堰など、山形の母なる川をいろいろな視点から見学しました。(事業部)



友の会 facebook への投稿を紹介します ～荒川知水資料館・清水弘幸さん～



運河博物館で青山の写真を指差す清水さん

荒川知水資料館アラボラ講座で青山士とパナマ運河の講師を3年前からしている清水です。まだお会いしていませんが、そのうちに資料館をお訊ねするつもりです。青山士のパナマ運河建設工事の7年間は、土木学会に遺された写真でしか知ることが出来ないこともあり、この7月にパナマに行き、かつて荒川知水資料館と姉妹提携を結んでいたパナマ運河両洋博物館の館長ともその話をしてきました。彼女は2000年の姉妹提携時に当時の建設省・扇千景大臣立ち合いで提携署に署名した人です。行った甲斐もあり、青山士の新しい設計図が見つかり持参しましたが、日本では未発表の物で素晴らしい出来栄です。運河博物館の2Fにある工学士コーナーに、アメリカ人技師と並んで青山士の写真があります。来月(10月)はパナマ運河開通100周年記念で、アメリカ土木学会総会がパナマ市で開催するので、土木学会でもデレゲーションを派遣し、90分の予定で青山士のプレゼンテーションを現会長がスライドで実施します(青山士のT-shirtも持参することになっています)。また、来月にでもその時の模様をお知らせすることができると思います。(9月27日)



イベント案内

大河津分水講演会 2014 開催間近

3回目の大河津分水講演会開催が間近に迫りました。開催概要がまとまりましたので、改めてお知らせします。講演会后、講師を囲んでの交流会を初めて開催します。どなたでも参加出来ます。講演会共々、多数の参加をお待ちしています。(事務局)

日時：平成 26 年 12 月 7 日（日）14:30～16:50

場所：燕三条地場産業振興センター

リサーチコア 7F マルチメディアホール

三条市須頃 1 丁目 17 番地 Tel.0256-32-2311

講師：国土交通省北陸地方整備局長 野田 徹 氏

演題：「北陸における減災・防災の取組について」

交流会

場所：レストランメッセピア(リサーチコア隣)

時間：17:20～

会費：4,000円(参加自由・当日徴収します)

※参加申込は事務局まで。(定員180名)

※分水地区からバスを出します。希望者は事務局へ。

※スタッフ募集中。希望者は事務局まで(15名程度)

庭木剪定にご協力ください

資料館の庭木剪定を行います。手持ちの道具を持参して下さい。剪定くず集めの方歓迎。(支援部)

日時：平成 26 年 11 月 8 日（土）10:00～12:00

慰労会：ふれあいセンターにて昼食会を開催します。

※参加希望者は事務局までご連絡ください。

H26 年度第 3 回ガイド研修

資料館管理業務運営員の第3回ガイド研修を開催します。今回は出力65,000KWと日本一の東北電力「柳津西山地熱発電所 PR 館」を訪れ、アテンダントのガイドを学びます。運営員の参加をお願いします。若干余裕がありますので運営員以外の参加希望者は事務局までお知らせ下さい。(支援部・事務局)

日時：平成 26 年 11 月 16 日(日)8:00～17:00

集合：大川津ふれあいセンター 8:00

場所：東北電力「柳津西山地熱発電所 PR 館」

福島県河沼郡柳津町大字黒沢

Tel.0241-43-2634

参加費：1,000円(昼食代)

※定員25名(定員になり次第締め切ります)



団体会員
ご紹介

我ら大河津分水応援隊！

大河津分水路事業との関わり

株式会社アドヴァンス

弊社は、昭和 34 年に南魚沼郡大和町浦佐地先（現:南魚沼市）の魚野川河川敷にて蛇籠に代わる連節ブロック（即脱式：ゼロスランプ）を新潟県内で初めて製造を開始し、北陸地方整備局管内を中心に河川整備を始めとする国土保全を支えるコンクリート資材メーカーとして営業展開をしております。

大河津分水路との関わりとして、平成 4 年から洗堰全面改築のメインとなる堰本体の外壁をプレキャスト製品として、耐久性と景観に配慮しての自然石（桜御影石）で、性能実験～資材納入で協力させて頂きました。主な内容は、堰本体（生コン）と外壁との膨張・収縮による挙動差の影響や本体との一体化構造等の検証をさせて頂きました。その後今日までは、可動堰上下流における法覆護岸と魚道（傾斜隔壁型・・・対象魚類/小型遊泳魚、低生魚、甲殻類）のプレキャスト化を図る等コンクリート製品の納入をさせて頂いております。

そのようなことから、会社創業開始から 56 年の月日は、信濃川水系の河川災害復旧や河川整備に携わっており、今後も安全で環境に配慮した機能性が高い製品や工法を提案させて頂きたく、今後共ご指導ご鞭撻を頂ければ幸いと存じます。



完成間近の新洗堰

「渡部橋」の思い出

渡邊設計事務所 渡邊 豊

信濃川大河津分水路にかかる渡部橋は、本当に思い出深い橋のひとつです。当時私は、国上村に育ち、国上小学校 2 年のときだと思いますが、渡部橋を渡った先に友達が 3 人住んでいて、橋で遊んだ楽しい思い出が蘇ってきます。木の橋だったので、風が吹くと怖くて足がすくむ感じでした。雨が降ればすべて怖い思いをしました。ですが、晴れた日の橋の上から眺める景観は実に素晴らしく、河口の間から佐渡島が見え、美しい夕焼けの風景は格別でした。いまだに思い出すことがあります。冬になると橋が閉鎖されてしまい、友達に会うことも出来ないときもありました。でも翌年には、見事な新しい橋になり、学校行事で渡り初めにも参加した記憶があります。この渡部橋は、対岸を結ぶ重要な橋であり、道路交通幹線の大切さを知りました。

現在、燕市旧分水地区内に住んでいますが、縁あって大河津分水公園に桜の苗木を 5 本植えさせていただき、毎年大きくなって花の咲くのを心待ちにしています。これからの人生桜のように、「日々好日」であるように頑張っていきたいと思っています。

私にとっても、大切な大河津分水をたくさんの人に知ってほしいと心から願うばかりです。



木橋の渡部橋(昭和 3 年撮影)

信濃川工事事務所発行「目で見る工事誌」より

《編集後記》好天に恵まれたサケまつりは大勢のお客さんで賑わいました。これをきっかけに資料館に足を運んでもらい、ファンになっていただけたら◆その資料館の玄関が、いつも季節の野の花で飾られているのにお気付きですか。この日は薄荷の花に初めて巡り合いました。花の名も添えられたさりげないおもてなしが新鮮です◆分水路河口を左岸に拡幅すると整備計画原案が示されました。地域にお住いのみなさんの理解を得ながら、計画が着実に進展するよう応援していきたいと思っております◆印刷直前に入ったうれしい知らせです。昨年度の私たちの活動が、河川整備基金助成事業の中から「川に学ぶ全国事例発表会(1月30日東京)」で発表する 10 題の一つに選ばれました(ii)



<事務局連絡先>

〒959-0123 燕市大川津 1215-7

TEL 090-2673-6596(事務局長)、090-1996-1256(事務局)、FAX 0256-97-3682

e-mail ohkouzu_tomonokai@yahoo.co.jp 友の会フェイスブック <https://www.facebook.com/ohkouzuTOMO/>